

平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象:平成15年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課)	
	再評価時点 H15	町田川 広域基幹河川改修事業 事業主体:県 事業地:唐津市	流路是正、狭窄部解消を行い、土地区画整理事業と一体となった整備を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 165m ³ /s 計画治水安全度 1/30	全体事業費:C=85.8億円 工期:S58~H25 改修延長:L=4,170m 計画流量:165m ³ /s 計画治水安全度:1/30 事業内容:掘削・築堤 護岸、橋梁14基、堰4基	唐津駅南土地区画整理事業関連区域および国道204号関連工区について、河床掘削を残して改修が完了している。 また、神田中村工区の改修が概成している。 勇駒橋他4橋が完成 (H14末進捗率 61%) (事業費ベース) (年平均進捗率 3.1%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 430戸 農地浸水面積 550ha (地域の状況) 流域内にて、S55年から唐津駅南土地区画整理事業が始まりH16完了予定である。また、山口川流域は宅地としての土地利用が望まれている。 上流部に国道204号が開通し、商業地域化が進んでいる。	事業採択時と比較し、土地区画整理事業の進展による人口増加のため、費用対効果は増大していると考えられる。 現在(B/C) 3.8	(コスト縮減策) 土工事において、建設発生土の利用促進を行う等によりコスト縮減を図る。	再評価実施後5年が経過	継続	
	現時点 H20	総合流域防災事業		前回評価時より事業費が増額となった。 全体事業費:C=90億円 工期:S58~H32 改修延長:L=4,170m 計画流量:165m ³ /s 計画治水安全度:1/30 事業内容:掘削・築堤 護岸、橋梁14基、堰4基	唐津駅南土地区画整理事業関連区域および国道204号関連工区について、河床掘削を残して改修が完了している。 また、神田中村工区の改修が概成し、更に山口川の上流工区への改修促進を図っている。 勇駒橋他7橋が完成 (H19末進捗率 82%) (事業費ベース) (年平均進捗率 3.3%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 流域内にて、S55年から唐津駅南土地区画整理事業が始まりH16完了。また、山口川流域は民間業者による宅地開発が進み、地域の治水安全度の向上が望まれている。 上流部に国道204号が開通し、商業地域化が進んでいる。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 一般資産被害額 農作物被害額 公共土木施設等被害額等 B=160,788百万円 総費用額 C=13,626百万円 現在(B/C) 11.8	(コスト縮減策) 土工事において、建設発生土の利用促進を行う等によりコスト縮減を図る。	再々評価実施後5年が経過	平成2年、平成10年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。	
	理由等			・鋼材単価の高騰による工事費の増。 ・河川構造物の耐震検討に関する新たな指針による構造物の検討費用及び工事費の増。 ・河床掘削土の運搬距離増による処分費増。 ・行財政改革等の予算縮減を受け年度事業費が減となったことによる工期延長。							

